

市場拡大する「中学ハイクオリティ参考書」の牽引役 『中学総合的研究(改訂版)』2/16刊行 「新学習指導要領」に対応し、言語活動を強化

教育出版の株式会社旺文社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 赤尾 文夫、以下旺文社)は、参考書市場の売れ筋商品である『中学総合的研究』の新学習指導要領対応版を、2月16日に刊行いたします。

「中学総合的研究シリーズ」は中学入学時から高校入試までを網羅したハイクオリティな参考書です。今回の改訂版では「数学」「理科」の移行措置に対応するとともに新学習指導要領のポイントとなる「言語活動」を強化しました。

分厚く内容が充実した参考書市場は、2006年2月に当社の「中学総合的研究シリーズ」が発売されて以降、順調に拡大し、2005年度比137%までに拡大しています。3枚目「参考資料」のグラフのとおり、新刊刊行による市場の奪い合いではなく、市場全体が成長していることがわかります。

旺文社では、「厚もの」参考書市場で約4割のシェアを誇る『中学総合的研究』を新学習指導要領に対応させるとともに充実・強化した改訂版を刊行することで、更なるシェア拡大を狙います。



◆『中学総合的研究(改訂版)』概要

書名	『中学総合的研究(改訂版)』 英語・国語・数学・理科・社会				
判型	A5判	刊行	2009年2月16日	定価	各2,940円(税込)
頁数	各528~648ページ(英語にはCD2枚、国語にはCD1枚と小冊子が付いています)				
対象	中学1~3年生 ※日常学習から難関高校の入試対策まで対応した、ハイクオリティ参考書。				

◆ 今回の改訂について

➤ 新学習指導要領に対応

2008年3月に発表された中学校の新学習指導要領は、2009年の移行措置を経て、2012年に完全実施となります。今回の改正では、現行学習指導要領の「生きる力をはぐむ」という理念の実現のために、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力の育成」が加えられました。

今回の『中学総合的研究(改訂版)』では、この新学習指導要領に沿って5教科すべてを3年ぶりに改訂し、思考・判断・表現する力を育むための「言語活動」を重視しています。また、単元の移行があった理科と数学は、移行措置に対応しています。

➤ **「厚もの」参考書の売上好調**（データは3枚目「参考資料」をご参照ください）

脱ゆとり教育や、中学受験者の増加、小中・中高一貫校の増加などを背景に、よりくわしい参考書のニーズが高まっています。昔は「分厚い参考書は売れない」と言われていましたが、近年では¥3,000程度・500～600ページ・束幅3cm前後の「厚もの」参考書が好調です。ある大手書店のPOSデータでは、2005年度から2008年度までの4年間で、「厚もの」参考書の売り上げ部数が137%になっています。

旺文社では順調に売り上げを伸ばしている本シリーズをさらに充実させるべく、今回の改訂では定価はすべて据え置きのまま、全教科ページを増加（国語のみ別冊）いたしました。

◆ **改訂内容について**

【数 学】	<p>◆ 新学習指導要領のポイント「数学的活動」に対応</p> <p>「数学的活動」に役立つテーマを、単元のはじめに盛り込みました。実生活と数学がどのように結びついているのか、身近な題材を用いて具体的にわかりやすく説明されています。また、前の学年で習った内容が、ひと目でおさらいできるような例題になっているので、「スパイラル(反復)学習」にも効果的です。</p>
【理 科】	<p>◆ 言語活動に対応した、「実験・観察の進め方」などを新設</p> <p>新学習指導要領では資料を読み取り、そこから何がわかるのかを考え、考えたことを他の人に伝えるという一連の言語活動が重視されます。理科では「物理・化学・生物・地学」の各分野でよく使われる題材をもとに、「実験・観察の進め方」を掲載しました。また、検索性にすぐれた構成で、記憶の定着や重要項目の整理がしやすくなりました。</p>
【英 語】	<p>◆ 表現力の強化を重視し、発信型表現編の章を新設</p> <p>「書くこと」「話すこと」という自ら発信していくための表現方法を、新たに追加しました。本編で学習した文法や英語特有の言い回しを、英作文やミニスピーチ作成の視点から改めて取り上げ、解説しています。また、従来の付録CD1枚に加え、今回新たにもう1枚を追加。さらに実践的な英語力がアップします。</p>
【国 語】	<p>◆ 「聞くこと」についての学習演目を新設</p> <p>国語分野で近年重視されている「聞くことで理解する」学習の演習として、執筆陣による特別授業を収録したCDと対応冊子を、今回初めて付録にしました。従来の「読む」学習から「聞く」学習へ発展させることによって、本物の考える力、読解力が身につきます。CDには「臨場感」溢れる朗読や、「聞く」古典文学、独特の「間(ま)」を味わう落語などの音声を収録。</p>
【社 会】	<p>◆ 表現方法に幅がでる、「社会レポートの作成」方法などを特集</p> <p>地理・歴史・公民の圧倒的な情報量を1冊にまとめてある参考書です。「裁判員制度」などの時事情報や、データを最新のものに更新。また、新学習指導要領で重視される「言語活動」に対し、それぞれの編末にレポートやプレゼンテーションの効果的な方法を新設しました。さらに巻末には、最新の世界地図・日本地図の綴じ込み付録を追加。</p>

以上

【会社概要】

社 名： 株式会社 旺文社
 代 表 者： 代表取締役社長 赤尾 文夫
 設 立： 1931年10月1日
 本 社： 〒162-8680 東京都新宿区横寺町 55 / TEL: 03-3266-6400
 事業内容： 教育・情報をメインとした総合出版と事業
 U R L： <http://www.obunsha.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

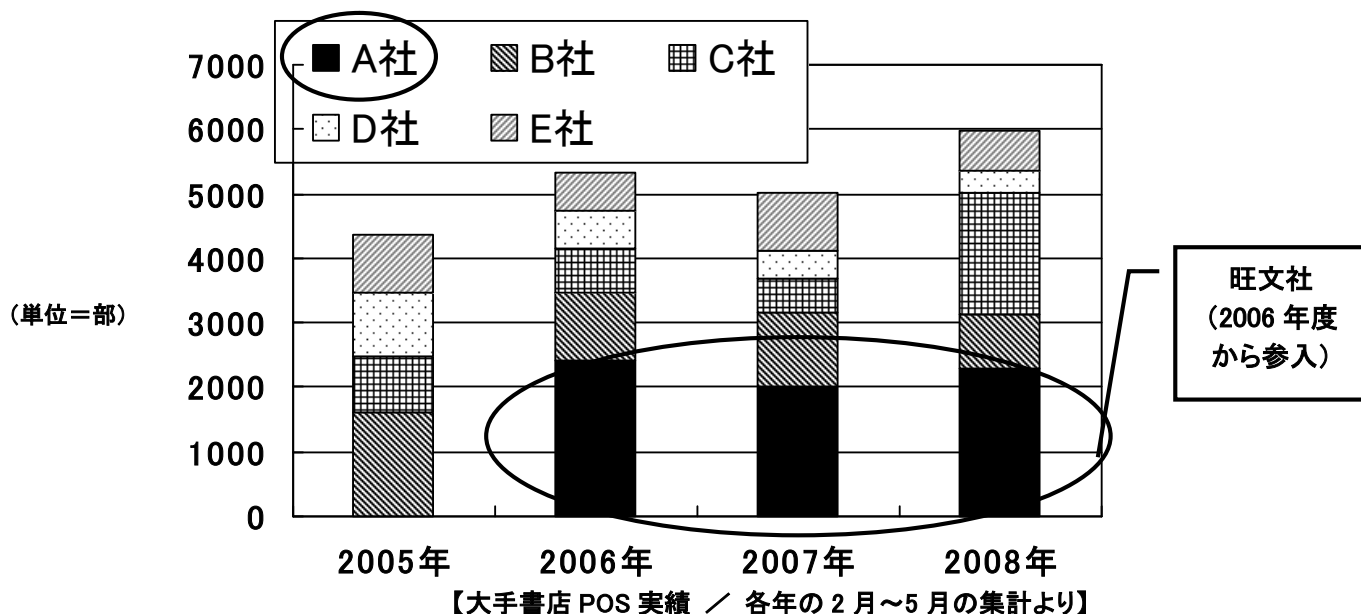
株式会社旺文社 広報担当：山縣（ヤマガタ）・三澤（ミヅ）
 TEL:03-3266-6495 FAX:03-3266-6492 E-mail: pr@obunsha.co.jp

参考資料

➤ 「厚もの」参考書の売上推移データ

ある大手書店の POS データによると、4 年前(2005 年)と比較すると市場規模は 137%まで大きくなった。これは新刊の刊行による市場の奪い合いではなく、「厚もの」参考書市場全体が大きくなっている結果である。今後も新学期の書店平台には、必ず「厚もの」参考書が展開されていくことが予想される。

【中学「厚もの」参考書の変遷】 ※グラフ中の「■ A社」が旺文社。



➤ (既刊) 「中学総合的研究 問題集」シリーズ のご紹介

この『中学総合的研究問題集』シリーズは、『中学総合的研究』の内容と連動している問題集です。難関高校の入試対策用問題集として、それぞれの教科の中でも苦手意識の高い項目に特化しました。『中学総合的研究』シリーズと合わせて学習すれば、より効果を発揮します。

英語	『中学総合的研究問題集 長文読解』 難関高校の過去問題を、英文と設問の2つの視点から分析・解説しています。
国語	『中学総合的研究問題集 国語読解』 まず日本語の特色を理解させる初歩から、国語読解を学習。もちろん、難関高校入試問題にも対応。
数学	『中学総合的研究問題集 数学図形読解』 図形問題に的を絞り、解答に必要な「正しく情報を読み取る力」などの5つの「力」に着目しました。
理科	『中学総合的研究問題集 理科計算問題』 理科の計算問題を解く上で必要な基本事項と、豊富な例題が充実。
社会	『中学総合的研究問題集 資料読解』 地理・歴史・公民の代表的な資料を「目のつけどころ」「読み取りどころ」「考えどころ」からアプローチ。

